

道徳 学習指導案

単元名 著作権って何？（1時間完了）

目標 著作権に関する知識を身に付けることができる。

著作権に配慮して情報を扱う態度を身に付けることができる。

時間	学習活動	指導上の留意点	情報モラルにかかわる評価の観点と方法
5分	1 情報モラルクイズの（中学校）に提示された著作権に関するクイズに取り組む。	クイズの内容が法的に認められるかどうかをYES・NOで判断させ、なぜそう考えるのかをワークシートに書かせる。	著作権について学習することが理解できたか、生徒の表情や発言の様子からつかむ。
5分	2 正解がNOであることを聞き、問題文のどこに問題があるのかを考える。	正解がNOであることを知らせ、問題文の中で、法的に問題があると思う部分にアンダーラインを引かせる。また、同時にその理由をワークシートに書かせる。	問題文のどこに問題点があるのかを考えることができたか、ワークシートの記述からつかむ。
10分	3 問題のある部分を発表し合い、著作権とはどのような権利なのかについて考える。	アンダーラインを引いた部分とその理由を発表させる。 【予想される解答】 ➢ コピーして ➢ 友達にあげた ➢ 本	著作権について理解できたか、ワークシートの記述からつかむ。
(5)	(1) コピーして友達にあげるという行為について考える。	著作権で保護されている事柄を、著作者の収入にスポットを当てて考えさせる。 【著作権に対する考え方】 ➢ 「本」の価値は中身にある。 ➢ 著者は本の内容(著者のアイデア)を売って生活をしている。 ➢ 「自分が買った」は、本の内容に価値を認め、対価を支払ったという意味である。 ➢ 「コピーしてあげる」は、著者の収入を得る機会を奪い取る行為である。	
(5)	(2) 自分の作った作品や撮影した写真なども、勝手にコピーすることは違法であることを理解する。	アイデアを守るという考えは収入を伴うものばかりではないことに気付かせる。	
15分	4 学習内容を振り返って、今後どのように生活の中に生かすことができるかをまとめる。	普段の生活の中で、著作権を侵してしまっている場面を考えさせ、それを直していくにはどのようなことに注意したらよいのかを考えさせる。	著作権を普段の生活に生かしていこうと考えたか、ワークシートの記述からつかむ。
3分	5 著作権に関する例外事項を聞く。	身近な例として、授業で情報を扱う場面では、例外的にコピーをすることが認められることを伝える。	

# 「著作権って何？」

年 組 番 氏名

クイズ 次の内容は、法律的に か×か？

自分が買った本に、ゲームの進め方がのっていたので  
コピーして友達にあげてもよい。

- 1 私の答え
- 2 なぜ、そう考える？
- 3 なぜ、そう考える？
- 4 ふだんの生活をふりかえって